

令和4年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立黒瀬高等学校	校長	吉川 由縁	生徒指導主事	藤本 倫考
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『障害福祉を学ぶ日への取組～地域共生社会の実現を目指して～』

取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
「他者の個性を理解する力」	3	「障害・福祉に関する理解」	1	「社会貢献」	2

取組のねらい

障害福祉について体験することにより自分にできることを見つける。
 支え合う地域を創るために、自分自身が地域共生社会を創る大切な一人であることを知る。

取組の具体的内容							取組の創意工夫 『キーワード つながり、気付き、支え合う』	
官民で構成する「黒瀬みらい会議」（市教育文化振興事業団、市社協黒瀬支所、市黒瀬支所、広島国際大）で障がい者の健康増進に向けた「福祉ウォーク」が企画され、本校で実施することとなった。実施日を終日「障害福祉を学ぶ日」として以下の日程で開催した。							<ul style="list-style-type: none"> ・実施日については施設の方とも協議し、気候や行事等を考慮して11月の開催となった。 ・ニュースポーツ体験…幅広い年齢層で気軽に楽しめるという観点から実施した。種目や運営については事業団の方のアドバイスを参考にした。 ・交流会…普通科1年が総合的な探究の時間で障がい者が楽しめるゲームを企画。障がい者施設の方のアドバイスをいただき、種目や難易度、進行について考えた。 ・参加者への介助…施設の方と障害の度合いやできることなどを確認し、担当を決め楽しんで参加してもらえよう介助した。 	
	1年		2年		3年			
	普通科	福祉科	普通科	福祉科	普通科	福祉科		
午前	ニュースポーツ体験							
午後	交流会	交流会	福祉体験	交流会	講演会	講演会・福祉体験補助		
	振り返り	福祉ウォーク	講演会	福祉ウォーク	福祉体験			
<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ体験（ビーチボールバレー・ユニカール・グラウンドゴルフ） ・交流会（歌、的当て、ボーリングなど障がい者が体験）普通科1年が企画・実施。福祉科1、2年生が介助。 ・福祉ウォーク（事業団企画の障がい者とのウォーキング、プロの講師によるリズム体操）福祉科1、2年生が介助。 ・福祉体験（アイマスク歩行・介助体験） ・福祉講演会（福祉施設経営者による魅力のある介護・福祉について） 								

取組の成果と課題

普通科の生徒は福祉・介護について肌で感じる機会が少ないこともあり、学びの多い行事となった。ゼロからのスタートではあったが、交流会では自分たちで企画したのを楽しませようと普段以上に一生懸命な姿が見られた。体験や講演では、福祉や介護の視点や必要性、新たな魅力を感じる機会となった。今後も継続的に地域と連携していくことを課題として意識している。